

工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところでありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせ致します。

本資料を活用し、請負業者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願い致します。

【工事事故(速報)発生状況】 (H22.5.31現在)

	5月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成22年度(今年度)	8件	15件	0人	7人
平成21年度(昨年度)	14件	16件	0人	9人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

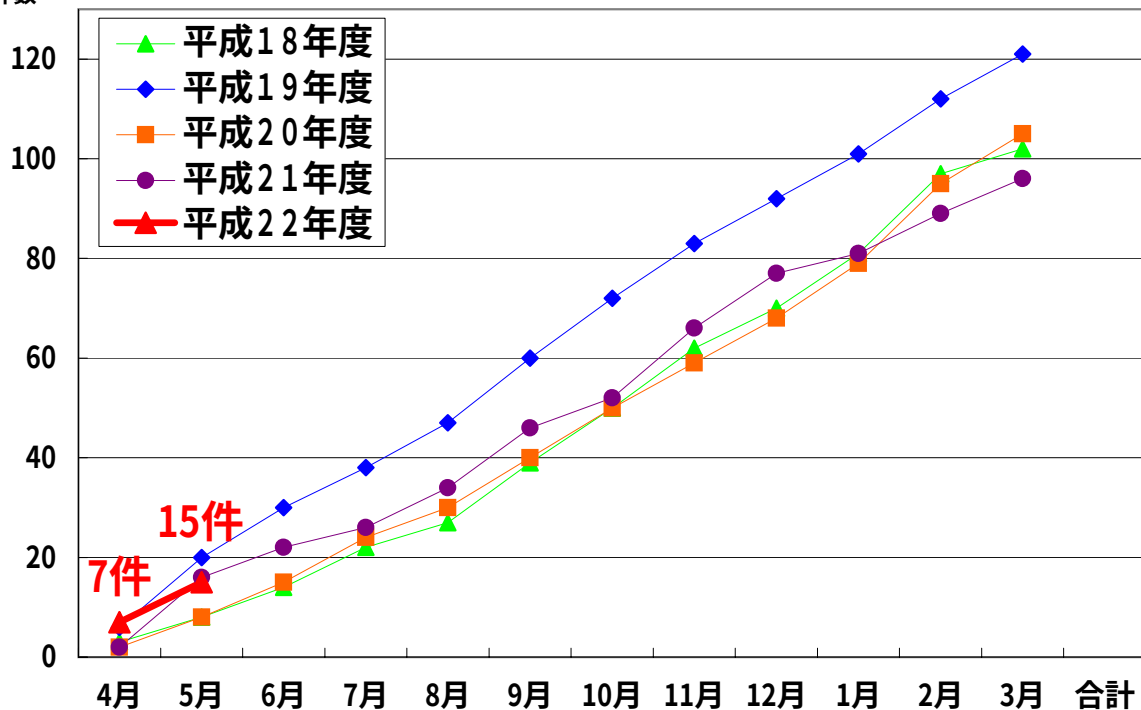
注2) 「5月発生件数」は、5/1～5/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～5/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～5/31の累計人数を示す。

注5) 平成22年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

件数



■問合せ先:企画部 技術調査課 渡辺・直海 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 22 年 5 月 10 日 (月)				11 時 0 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	男	19	作業員	左足膝上開放骨折			
事故概要	支持杭をとりまとめるため、クレーンにより吊り上げ吊り下ろし作業を行っていたところ、玉掛けワイヤーの先端フックが吊り荷に引っかかり、作業員の方向に倒れてきて負傷したもの。						

事故発生状況



・橋脚足場架台の支持杭を引き抜いて三段にまとめる作業を行っていた。

・被災者と吊荷の反対側にあった吊ワイヤーの先端フックが吊荷の下フランジに引っかかりそのまま巻き上げられた為、**吊荷が被災者の方向に倒れてきて、左足膝の上部を挟まれた。**

・玉掛け作業は二人一組で行っていたが、作業指揮者（合図者）の合図を待たずに、オペレータに合図を出し、オペレータもクレーンを動かしてしまった。



【事故発生原因】

・作業員が手順どおりに玉掛け作業をしていなかったため。

【事故防止のポイント】

・作業手順について作業員に周知・徹底する。
・単独作業の禁止。

など

発生日時	平成 22 年 5 月 11 日 (火)				3 時 10 分	天候	曇
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	男	26	作業員	仙骨骨折			
事故概要	足場解体作業中に、バランスを崩し足場上から墜落したもの。						

事故発生状況

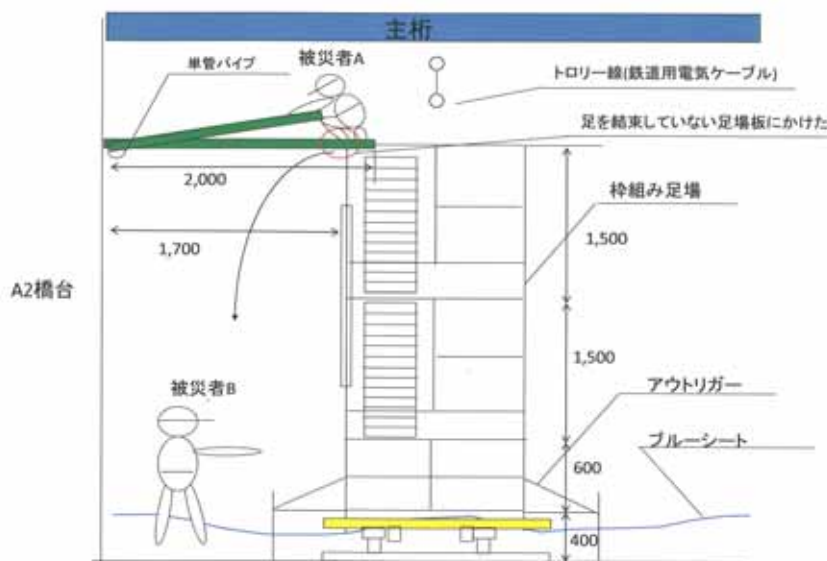


・足場板撤去作業を行っていた。

・足場上で作業をしていた作業員がバランスを崩し、足場板に足が掛かった。

・足場板が滑り、下で足場板を受け取る予定だった作業員の上に落下した。

・事故時、親綱を撤去しており、安全帯をつけていなかった。



【事故発生原因】

・親綱を撤去したときに、安全帯をはずしてしまい、その後の安全対策を行っていないため。

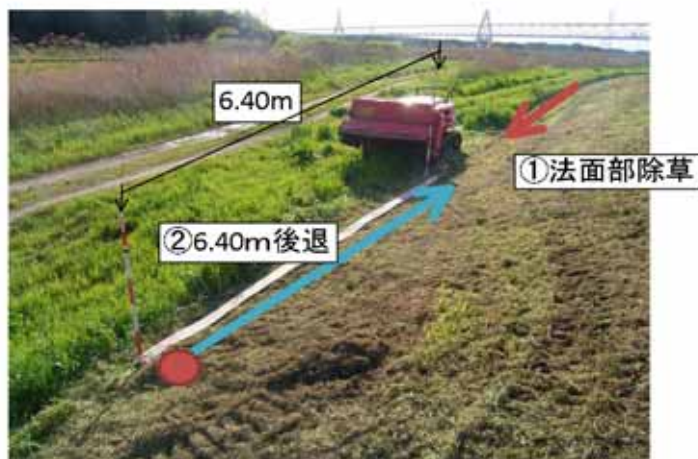
【事故防止のポイント】

・作業手順について作業員に周知・徹底する。
・安全帯使用の徹底。

など

発生日時	平成 22 年 5 月 13 日 (木)				9 時 41 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	男	34	作業員	左足すね部開放骨折			
事故概要	ハンドガイドに搭乗して除草作業を行っていたところ、足を滑らせ転落し、キャタピラ部に左足が轢かれ負傷したもの。						

事故発生状況



- ①平場から法面部を除草していた。
- ②平場の続きを除草しようと後退したところ、搭乗者が足を滑らせた。
- ③滑り落ちる際に、操作レバーにしがみつき、片足を地面についたときに左足が巻き込まれた。安全装置が外れず、そのまま機械はバック走行。
- ④足が巻き込まれて倒れこんだときに安全装置が働き、機械が停止。



【事故発生原因】

- ・スピードを出して後退していたため、機械の揺れが大きく、転落する原因となったため。

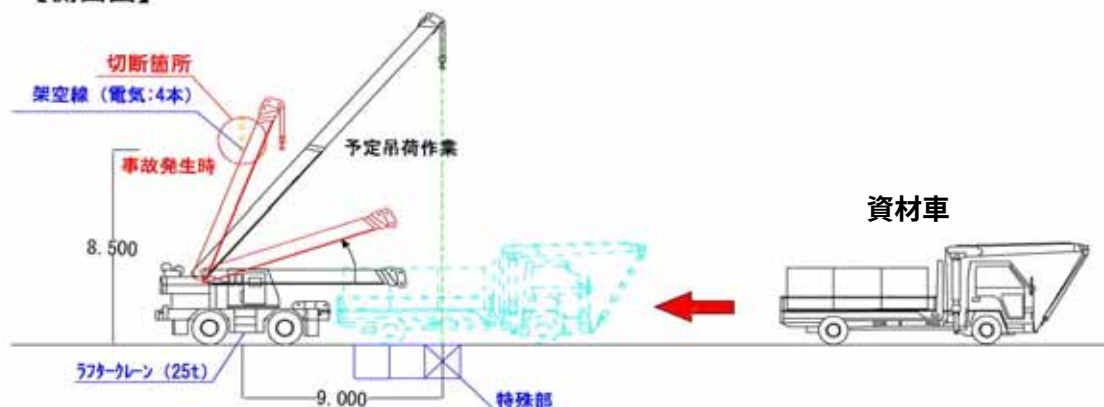
【事故防止のポイント】

- ・作業員に対して建設機械の使用方法的指導・徹底。
 - ・作業前に安全装置の作動点検の実施。
- など

発生日時	平成 22 年 5 月 14 日 (金)				15 時 50 分	天候	曇
工事情報	道路系事務所 As舗装工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	-	-	-	架空線切断			
事故概要	電線共同溝工事にてラフタークレーン (25t) を設置し、ブームを上げウインチを巻き上げた際に、架空線に接触し切断したもの。						

事故発生状況

【側面図】



・電線共同溝の特殊部設置作業を行っていた。

・バックしてきた資材車にあたると思い、必要以上にブームを起こしてしまったため、架空線に接触し、巻き上げ作業と同時に切断した。

【事故発生原因】

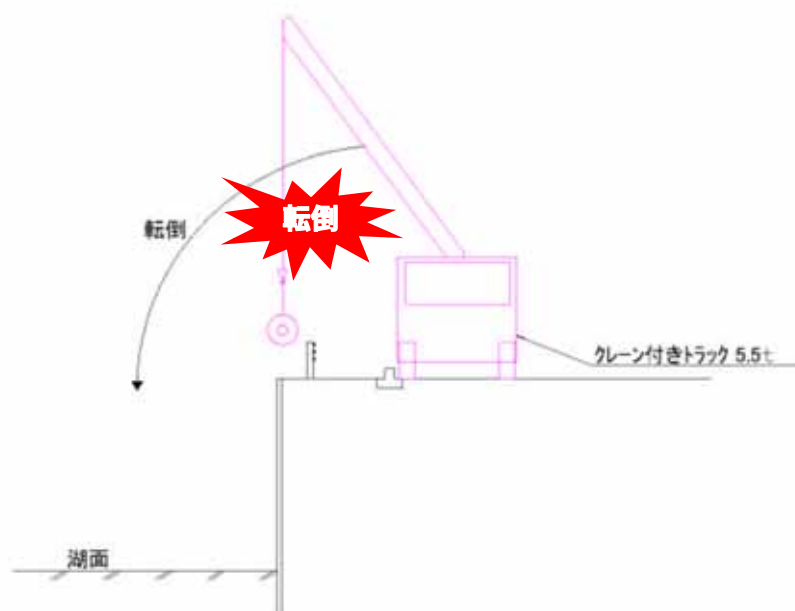
・誘導合図なしでオペレータが独断でクレーンのブームを動かしてしまったこと。

【事故防止のポイント】

・合図者・オペレータ間の合図や誘導方法の事前確認。
・架空線近接箇所における作業方法の周知徹底。 など

発生日時	平成 22 年 5 月 17 日 (月) 11 時 40 分				天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	転落防止柵損傷		
事故概要						

事故発生状況



・湖面にある流木を小型移動式クレーンにて吊上げ集積する作業を行っていた。

・流木を吊上げた状態で、後方へ旋回する際に、**急激なアクセル操作**をしたため、吊り荷が大きく揺れ、**クレーンがバランスを崩して転倒・落水**した。



クレーンの引き上げ作業状況



引き上げられたクレーン

【事故発生原因】

・クレーンの誤操作によるもの。

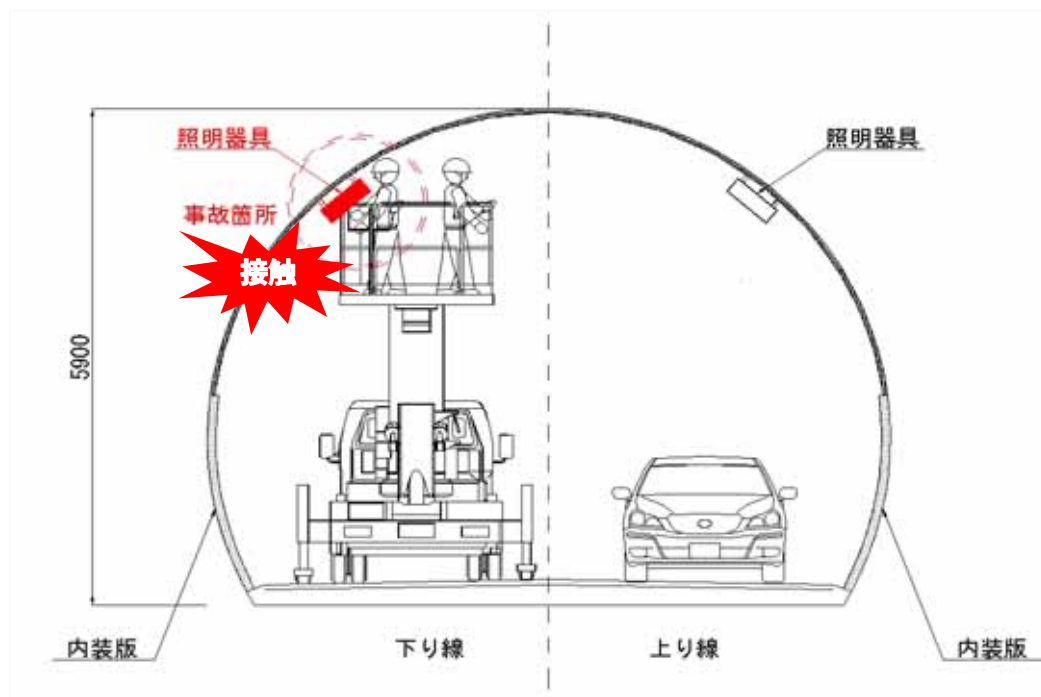
【事故防止のポイント】

・作業員に対して建設機械の使用方法的指導・徹底。
・吊り荷の重量に見合うクレーンの選定。

など

発生日時	平成 22 年 5 月 17 日 (月) 10 時 20 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	トンネル照明灯損傷		
事故概要	トンネル点検車にてトンネル内の事前調査を行っていたところ、トンネル照明灯に接触し損傷させたもの。					

事故発生状況



損傷状況

【事故発生原因】

・作業床を操縦していた作業員が、照明器具を避けたと思い込んでいたため。

【事故防止のポイント】

・作業時の周辺状況の確認・徹底。
・専任の誘導者の配置。

など

発生日時	平成 22 年 5 月 18 日 (火) 10 時 0 分					天候	晴
工事情報	営繕系事務所 建築工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	-	-	-	埋設サーバ用電源ケーブル切断			
事故概要	山留親杭 (H鋼200×200) を打設するために、オーガードリルにて掘削中に埋設サーバ用電源ケーブルを切断したもの。						

事故発生状況



・事前に試掘をして、ケーブルを確認していたのにも関わらず、**事故箇所の調査図には配管がないと誤記**していた。

・また、**埋設管表示をしていなかった**ため、施工時に注意することなく、誤記にも気がつかなかった。

損傷状況

【事故発生原因】

・工事関係者間での情報共有不足によるもの。

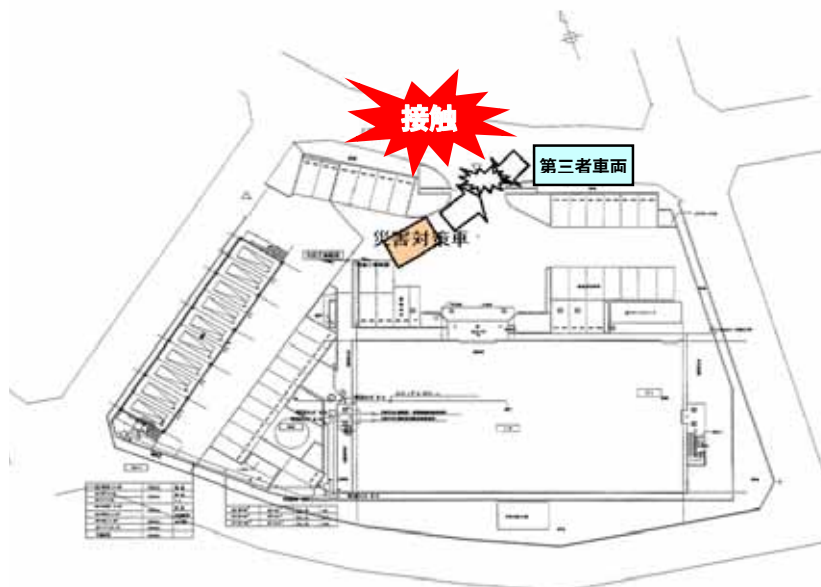
【事故防止のポイント】

・工事開始前の工事関係者間での情報共有。

・地下埋設物がある箇所については、埋設表示を行うなど、作業員への注意喚起を徹底。 など

発生日時	平成 22 年 5 月 24 日 (月) 8 時 50 分					天候	雨
工事情報	道路系事務所 役務						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	-	-	-	災害対策車、第三者車両損傷			
事故概要	車両管理員が災害対策車を運転していた際に、ブレーキ操作を誤ったため、前方から来た車両に接触し、損傷させたもの。						

事故発生状況



災害対策車 損傷状況



第三者車両 損傷状況

【事故発生原因】

・運転手の周辺確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。